総合計画／実施計画書
兼事務事業評価シート

事業期間　H20　～　H22

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

１．基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

基本施策ＩＤ	基本施策名
4 － 1 － 3	多様な担い手を育成する

重点施策ＩＤ	重点施策名
－ － －	

２．事業名等

事業名	肉用牛購入資金貸付基金事業	事業区分	②	①新規　②継続　③その他　（　　）	
細事業名		実施形態	①	①毎年　②隔年　③その他　（　　）	
事業主体	市		①	①直営　②指定管理　③委託 ④その他　（　　）	
事業種別	①　①自治事務　②法定受託事務				
実施期間	平成　17　年度　～　平成　22　年度	根拠法規	豊後大野市肉用牛購入資金貸付規則		
各種の計画への反映（＝根拠計画）	豊後大野市農業振興計画	事業ＩＤ	18022		

３．事業の内容等

事業の背景

優良雌牛の地域外への流出防止と、自家保留の促進を行い、優良雌牛集団の構築と次世代の種雄牛を造成し地域活性化と産地形成を図るため、導入時の経済的負担の分散や自家保留時の飼育管理費の貸付を行い農家負担の軽減を図る必要がある。

補助事業			
名称			
補助率	国 1/	県 1/	その他 1/

起債の種類	
①	
②	
③	

事業の目的及び対象

【目的】

優良雌牛の導入及び保留時に伴う農家負担の軽減を図る。

【対象】

肉用牛繁殖経営者

事業概要

基金を設置し、肉用牛資源の確保と活性化を図るため、肉用牛の購入資金の貸付を行う。

平成18年度基金額増額：63,000千円。合併前積立額27,000千円　合計90,000千円。

[貸付金対象]購入価格は、購入時市場の雌子牛平均価格とし、貸付上限を700千円。

[貸付期間]5年間で均等払い。(無利子)

前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
E 維持	

４．予算・決算の状況

（単位：千円）

財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		63,000					
	計		63,000					
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		63,000					
	計		63,000					

５．実績及び達成目標等

過去３年間の事業実績と課題

平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 貸付頭数：0頭	【実績】 貸付頭数：0頭	【実績】 貸付頭数：19頭 貸付金額：10,665千円	優良雌牛集団の構築と次世代の種雄牛の造成。

達成目標と前年度までの進捗状況・・・・・・事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	肉用牛購入資金の貸付額	
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒　平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。	
成果指標	購入及び保留頭数	単位 頭

年度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22		備考
種別					頭数		頭数		頭数		頭数		
目標値					19		45		45		45		
実績値					19								
達成率					100.0%								
備考													

総合計画／実施計画書
兼事務事業評価シート

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

評価対象年度　H19　年度　　評価実施年度　H20　年度

６．前年度の事業評価				評価に関する視点
事業の必要性	１　２　３　４　５ 低い　←　→　高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。
理由	肉用牛の振興を図るには、更なる改良促進と種雄牛造成を行う必要があり、そのためには優良雌牛系統の確保が重要であるため。			
行政の関与	１　２　３　４　５ 不要　←　→　必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。			
手段の妥当性	１　２　３　４　５ 低い　←　→　高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。
理由	優良牛の導入に係る経費の一部を行政が貸付する方法が最も妥当であるため。			
事業の効果	１　２　３　４　５ 低い　←　→　高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。
理由	優良雌牛系統の確保にきわめて高い効果があるため。			
事業の予算	１　２　３　４　５ 減額　←　→　増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。
理由	基金の貸付であるため、予算措置の必要はない。			
人員体制	１　２　３　４　５ 減員　←　→　増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。			
事業規模	A　B　C　D　E　F 廃止　終了　統合　縮小　維持　拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。
理由	引き続き同程度の貸付申請が見込まれるため。			

その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。

年間の貸付限度額27,000千円に対し、現状では10,665千円にとどまっているため、本事業の活用について周知を図る。

部　長	課　長	班　長	担当者
			内線　2550 E-mail　@bungo-ohno.jp